



神戸大学医学研究科・医学部 ～リサーチホスピタルとして ICCRCを活用していきます～

医学研究科長・医学部長メッセージ

神戸大学では、神戸市のポートアイランドに整備された神戸医療産業都市の唯一の大学医療・研究機関として、2017年に医学部附属病院国際がん医療・研究センター（ICCRC）を設置しました。
このセンターをリサーチホスピタルとして活用し、周辺の医療機関・研究機関と連携して、がんに対する先進的外科的治療や次世代医療・新規医療機器の研究開発ならびに人材の育成を推進していきます。



がんに対する先進的外科的治療、次世代医療機器・新規医療機器の研究開発を推進していきます。

①がんに対する先進的外科的治療の推進

光力学診断による経尿道的治療や、消化管がんに対する低侵襲内視鏡手術を実施します。
※「低侵襲」とは、からだへの負担（侵襲）が少ないことです。

②次世代医療機器・新規医療機器の研究開発の推進

国産手術支援ロボットや光免疫療法などを活用した低侵襲な治療法・治療機器の研究開発を推進します。
AI、5G、8Kなどの未来医療技術を活用した革新的医療機器等の研究開発を推進します。
リキッドバイオプシーに代表される個別化情報、個別化検体を用いた研究を推進します。

③学生・医療人に対する教育の推進

新しい医療機器の研究開発を進めていく人材の育成を神戸大学、神戸市、産業界が連携して行います。
新しい治療法や治療機器の技術を医療人に教育します。

ご寄附いただいた場合

◆寄附金は寄附金控除の対象となります。

- ・12月頃、寄附金の領収書を郵送します。
寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に領収書を添付してください。

◆活動内容を報告します。

- ・ICCRCの活動内容を記載した報告書を5月頃、お送りします。

団体連絡先

国立大学法人神戸大学 医学部研究支援課

神戸市中央区楠町7丁目5番1号
TEL:078-382-5370 FAX:078-382-5371
MAIL:k9shien@med.kobe-u.ac.jp

ご支援でできること

具体的な取組



先進的外科治療

低侵襲で、患者さんの負担を軽減するがんの治療を目標としています。新しい治療として、光力学診断による膀胱がん治療や、胃がん大腸がんなどに低侵襲内視鏡手術（ESD）を実施し、これらの精度を上げる研究を進めています。

新しい国産ロボット支援手術

国産手術支援ロボット（hinotori）を活用することで、安全で精緻な手術を行います。さらに、このロボットで手術動作のログデータによる数値解析を行うことで、匠の技を科学的に数値化し、若い医師が熟練医師の手術について学びやすくなる可能性を追求します。また、この新規ロボットに関連して、AI、5G、8Kなどの未来医療技術を活用した革新的な医療機器の研究開発を行い、離れた場所から医師がロボットを操作して手術（遠隔手術）ができるようになり、医師の地域偏在という問題を解決することを目標としています。

先進的治療を進めるための研究

医学部・工学部が連携しICCRC内に未来医工学研究開発センターを設置、先進的医療技術に必要な新しい医療機器の開発を進めています。また、リキッドバイオプシーで取得した検体情報をAIで解析し、がんの性質を緻密に把握します。これによって適切な手術の切除範囲が決定され、抗がん剤や放射線療法の追加が必要かなど、治療方針の決定、予後予測モデルの構築が可能になると思われます。

今後の目標

- hinotoriによるロボット手術の普及
- ロボットによる遠隔支援手術の研究
- 新しいロボットに必要な新しい医療機器の開発
- 医工融合型教育の大学院新コースの開始

いただいた寄附金の活用方法

今回の寄附金では、リサーチホスピタルとしてICCRCを活用するために必要な環境の整備に使用します。
上記の治療・研究開発・教育は国や企業等から頂いた費用で賄えますが、それらの費用は使用方法が限定されているため、複数の事業に跨ったような費用にはなかなか使用できません。頂いた寄附金はこれらの事業をつなぐ費用として活用させていただきます。